

2025年12月8日



女性の視点が変える物流現場 —— ユニフォーム刷新と再資源化

株式会社PALTAC(大阪府大阪市、代表取締役社長:吉田 拓也、以下「当社」)は、ユニフォーム総合商社である株式会社ハトヤ(大阪府大阪市、代表取締役:岩橋 建典、以下「ハトヤ」と)とワーキングウェアを製造販売しているアイツス株式会社(大阪府大阪市、代表取締役社長:伊藤 崇行、以下「アイツス」)の協力により、2025年12月から物流ユニフォームのリニューアルを通じた使用済みユニフォームの再資源化に取り組みます。

《背景と目的》

現在、地球温暖化の進行による気温上昇が続いている。これに伴い、地球環境への配慮と従業員の健康・安全の確保が求められ、職場では熱中症対策の義務化など、安全性や快適性の確保に向けた取り組みが進められています。こうしたなか、当社は「美と健康に貢献する企業」として、職場環境の改善や従業員の健康・快適性を重視した施策を推進するとともに、商品の製造や流通に伴うCO₂排出量の削減や廃棄物の削減など、サプライチェーン全体での環境負荷低減に取り組み、サステナブルな職場環境づくりを目指しています。

今回はその一環として、物流ユニフォームのリニューアルを通じて、使用済みユニフォームの再資源化に取り組みます。ユニフォームのリニューアルにあたっては、物流現場の声、特に女性従業員の視点を活かし、職場環境の改善を目的に立ち上げた「Neo Rosy Project[※]」が主導しました。リニューアルにあたっては、通気性や着心地、ポケットの使い勝手など、プロジェクトメンバーによる現場のリアルなニーズや意見を反映しながら、ユニフォームの選定を進めました。

※Neo Rosy Project:物流現場の約8割が女性従業員である当社では、女性の視点を活かした職場改善プロジェクトを推進しています。同プロジェクトの活動を通じて働く女性の視点を活かし、女性はもちろん全従業員が働きやすい環境づくりを目指しています。

《導入に向けて》

ハトヤの協力により、Neo Rosy Projectが定めた機能性・快適性・衛生面・現場と調和したデザイン性など、様々な選定基準を満たした、アイツス製ユニフォームを導入します。アイツスは、廃棄されるユニフォームを回収して生地として再生成することで新しいユニフォームへと生まれ変わらせるリサイクル事業AITOZ/BRING UNIFORMTMに参加しています。

(AITOZ/BRING UNIFORMTMは、株式会社JEPLANが運営・企画するリサイクル事業です。)

また、サプライチェーン全体の環境負荷低減に取り組む当社にとって、日常的に着用するユニフォームがリサイクル可能であることは、従業員の環境意識向上に繋がる最適な選択だと考えています。

《将来に向けて》

当社は、中期経営計画「PALTAC VISION 2027」のもと、サステナビリティの向上を重点戦略に掲げており、本取り組みは人財価値の最大化や環境・社会への貢献に資するものと考えています。引き続き、長期ビジョンに掲げた「つなぐ力で人と社会のミライを創る」をスローガンに、多様な人財が働きやすい環境整備や循環型社会の構築に貢献してまいります。

《新ユニフォーム》



ブルゾン(社員)



半袖ポロシャツ(社員)



長袖シャツ(社員)



ブルゾン(パート)



半袖ポロシャツ(パート)



長袖シャツ(パート)



Neo Rosy Project 会議風景

本件に関するお問い合わせは下記までお願ひいたします。

物 流 本 部・五反(TEL06-4793-1075)

経営企画本部・嶋田(TEL06-4793-1090)